令和7年度

工 事 設 計 書

事　業　名　　補助(農業水路等長寿命化･防災減災事業)

工　事　名　　八重地区水路改修工事(2工区)

工事場所　　西伯郡大山町八重

令和７年度

工 事 仕 様 書

第 1 総　　則

本工事の仕様書に当り、その優先順位を次のとおりにする。

1）特別仕様書（下記のとおり）

2）設計図書

3）鳥取県土木工事共通仕様書（令和６ 年 4 月改定版）

4）農林水産省農村振興局制定「土木工事等共通仕様書」

第 2 特別仕様書

1）工 事 概 要

工 事 名　　八重地区水路改修工事（2工区）

工 事 場 所　　西伯郡 大山町 八重

工 事 内 容　　水路工（角フリューム450） L=121.8m

2）工事完成の期限

令和　8年　2月　28日

3）水準点及び基準線

KBM.1 H=83.874 KBM.2 H=79.244

KBM.3 H=75.000

4）仕様書の削除

本工事に該当のない事項は、削除するものとする。

5）用地及び附帯工事

工事に必要な材料置場、仮設道水路等一切の敷地及びこれに伴う費用、附帯する工事等は、すべて請負者において処置しなければならない。

6）工　事　施　工

（1）施 工 管 理

1）鳥取県土木部制定「土木工事施工管理基準」

2）農林水産省農村振興局制定「土木工事施工管理基準」

（2）施 工 要 点

1．工事中諸施設を破損した場合は、関係者及び関係機関に遅滞なく届け出るとともに、その指示により請負者において処理し監督員に速やかに報告すること。この場合、監督員の確認が必要である。

2．工事施工に伴う立ち木、水道等の撤去・移設については、監督員の指示により施工しなければならない。

3．工事中の打合せ事項は、所定の様式により打合せしなければならない。打合せ簿に記載されない事項については、変更の対象としない場合がある。

4．工事施行についてその期間中所定の様式に伴い、日報を提出しなければならない。

5．請負者の施工する任意仮設は、この工事に十分な規模で労働基準法、その他関係諸法規に基づくものでなければならない。

（3）安　全　管　理

1）労働安全衛生法等諸法規を厳守し、工事の安全と円滑な進捗を図ること。

1．　歩行者及び通行車両等の安全を図るとともに、工事中における作業員の安全を確保すること。

2．　掘削作業・土留め作業等工事の安全を図るとともに、建設機械の能力・使用目的を十分に把握し、用途外使用等を行わないこと。

3．安全計画を立てるとともに組織編成を行い、労働安全衛生に努めること。

4．　労働安全衛生法第５９条、第６０条及び第６０条の２に定める安全衛生教育を実施するほか、工事現場に即した安全・訓練等を、全ての作業員を対象に月当り半日以上の時間を割り当てて実施するものとする。

　尚、安全・訓練等の実施については「鳥取県土木工事共通仕様書」１－１－６施工計画、「安全管理」に実施項目を記載し監督員に提出するものとする。

又、請負者は工事完成検査等が安全に実施出来るよう、必要な処置を講じなければならない。

7）水路工

（ｉ）施工要点

１．水路の底面及び側面は、掘りすぎないよう施工すること。特に機械施工の場合は注意すること。

２．コンクリート二次製品の護岸及び水路は出来上りが不揃いにならないよう注意し、滑脱、沈下等の恐れを生じた場合は監督職員の指示を受け適切な処置を取らなければならない。

３．コンクリート二次製品は、検収後、据え付けるものとするが、破損のないよう注意し、施工しなければならない。

４．フリューム等の埋戻しは、一時に埋戻しを行なわず数層に分け十分につき固めて施工しなければならない。

工事終了後に崩落、陥没のないよう施工すること。特に、道路側については十分突き固めること。

５．用排水路で、既製品延長の関係で短区間の取り付けの必要な場合は、監督職員の承認を受け、現場打で施工取り付けして差し支えない。

（ⅱ）使用材料

（１）資料の提出について

鳥取県土木工事共通仕様書第２編に基づき、請負者には、特別仕様書及び監督員の指示する工事材料については、使用前に見本又は資料を提出し承諾を得なければならない。

ア）　日本工業規格（ＪＩＳ）の表示許可材料を使用する場合、請負者は「工業材料使用届（様式－１）」 を提出し監督員の承諾を得るものとする。

イ）　日本工業規格（ＪＩＳ）の表示許可材料以外の特殊材料を使用する場合、「工事材料使用承諾書（様式－２）」及び「使用材料一覧表（様式－３）」を提出し監督員の承諾を得るものとする。

ウ）　発注者が適当と認めた生コンクリートについては、承認資料添付のうえ、使用届を提出するものとする。

（２）使用材料の数量規格は、数量表の通りである。

（３）　原則としてレディミクストコンクリート（生コン JIS A5308）を使用するものとする。セメントは普通ポルトランドセメント（JIS R5210）またはＢ種高炉セメント（JIS R5211）を使用する。

混和材料及びＡＥ剤については必要に応じて監督員が指示するものとする。

名　　称	スランプ	粗骨材最大寸法	使　用　箇　所
＝ 18N／mm2	8.0cm	40mm	無筋コンクリート

コンクリートの水セメント比は、鉄筋コンクリートについては５５％以下無筋コンクリートについては６０％以下とする。

上記以外の生コンを使用する場合は、骨材及びセメント試験成績表を添付した配合計書を提出して、承認を受けなくてはならない。この場合、監督員が必要と認めたときは試験練を行うこと。

（４）モルタルの配合は、下表のとおり。

名　称	モルタル　１m3 当り		使　用　箇　所
	セメント	砂	
1：2	720 kg	0.95m3	フリューム、管、接合
1：3	530 kg	1.05m3	敷モルタル

（５）基礎に使用する切込み砕石は、ＲＣ―４０を使用する。

9）舗装工

（ｉ）施工要点

1．プライムコート

アスファルト舗装、路盤施工後、よく清掃し 100m2 当たりアスファルト乳剤 PK－3 を 1 26 リットル／100m2 以上均等に散布すること。

2．タックコート

アスファルト舗装、現況アスファルト舗装をよく清掃し 100m2 当たりアスファルト乳剤 PK－4 を 43 リットル／100m2 以上均等に散布すること。

3．表層工

（1）　アスファルト舗装の場合舗装締め固めは、基準密度の 94％以上、歩道部においては 89％以上とする。

（2）　材料の敷均しは、現場に適合した方法(人力、アスファルトフィニッシャー等）で行い、所定の仕上げ厚が確保出来るようにしなければならない。

（3）転厚は、所定の密度になるよう、入念に転厚しなければならない。

4．道路区分

復旧する舗装構成は、設計図書による。

5．再生加熱アスファルト混合物の使用に関する特記仕様書

（1）　請負者は下記の資材の使用に際し、再生資材を利用するものとする。なお、使用に際し、監督員及び再資源施設側(再生加熱アスファルト混合物を製造する施設)と十分協議すること。

資材名	規格	使用箇所	備考
再生加熱アスファルト混合物	As量5～8％ 骨材最大粒径13～20mm	道路舗装	As5～7％密粒As

（2）　再生加熱アスファルト混合物の品質基準は、鳥取県土木工事共通仕様書、プラント再生舗装技術指針等に適合するものとし、使用に先立ち「再生資源利用計画(実績)書」を提出し、工事終了後その実績を記入し提出すること。

（3）　再生骨材の混入率は 10～40％を標準とし、配合設計書を提出し、監督員の承認を得ること。ただし、再生改質Ｉ型アスファルト混合物は 20％以下を標準とする。

（4）　工事発注後、再生資材の品質及び供給が得られない等やむを得ない事情により上記の指定により難い場合は別途協議すること。

6．路盤工

（1）路盤工の１層当たり厚さは、仕上げ厚 15cm 以下とする。

（２）材料の敷均しは、締め固め効果を考慮し、所定の仕上げ厚が確保出来るよう一様に敷均しを行う。

（３）転圧は、基準に適合するよう、入念に締め固めを行わなければならない。

（４）路盤の材料及び締め固めの基準は次による。

区　分	材　料	締　め　固　め　の　規　定
路　盤	切込砕石	密度は、JISA1214の方法で最大乾燥密度の93%以上とする。

１０）残土処分等

（ｉ）掘削により発生する土砂は、（有）赤松産業（大山町高橋 1406）に搬入する。

（ⅱ）コンクリート及びアスファルト塊は、（有）きのえ（大山町羽田井 646-1）に搬入する。

位　　置　　図

植松
南御崎
御崎
浜上
阿弥陀山
田中
赤坂
中山口
潮音寺
栄田
石井垣
樋口
新田
東積
八重
退休寺
業務位置
八重地区
境港市
日吉津村
大山町
琴浦町
北栄町
湯梨浜町
米子市
伯耆町
南部町
倉吉市
三朝町
鳥取市
八頭町
若桜町
江府町
日野町
智頭町
日南町
岩美町

現　場　説　明　書

令和６年７月１５日以降調達公告適用

工程

①（他工事等との調整）

＿＿＿＿＿＿＿＿については、＿＿＿＿＿＿と関連するので相互の連絡調整を密にすること。

②（部分完成、着工保留）

＿＿＿＿＿＿＿＿については、＿＿＿＿＿＿まで＿＿＿＿＿＿〔すること、しないこと〕。

③（施工時間）

本工事の施工時間帯は、昼間施工（８：００～１７：００）を見込んでいる。

＿＿＿＿＿＿＿＿の施工時間は、＿＿：＿＿～＿＿：＿＿とする。

④（余裕期間設定工事）

本工事は、鳥取県余裕期間設定工事に係る実施要領（平成28年6月9日付第2016000363 28号県土整備部長通知）の対象工事であり、工事開始日、前払金の請求、技術者の配置及びその他の取扱いについては、同要領の規定による。

工期については、調達公告のとおりとする。

⑤（鋼材の調達の遅れによる工期の延長）

この工事の工期には、鋼材調達期間として、＿＿＿ヶ月を見込んでいるが、受注者の責に帰することができない事由により鋼材の調達が遅れ、工期内に工事を完成することができない場合は、その理由を明示した書面により、発注者に工期の延長変更を請求することができる。

⑥（週休２日工事）

【治山工事、林道工事、港湾工事、漁港工事以外】

本工事は、鳥取県県土整備部週休２日工事実施要領（平成30年3月12日付第201700297117号県土整備部長通知）の対象工事である。https://www.pref.tottori.lg.jp/277262.htm に掲載された本工事調達公告日時点で最新の同要領の規定に従い週休２日工事を実施すること。

【治山工事、林道工事】

本工事は、鳥取県治山工事及び林道工事における週休２日の取得に要する費用計上実施要領（令和6年4月26日付第202400033117号森林・林業振興局長通知及び第202400031869号治山砂防課長通知）の対象工事である。https://www.pref.tottori.lg.jp/317565.htmに掲載された本工事調達公告日時点で最新の同要領の規程に従い週休２日工事を実施すること。

【港湾工事、漁港工事】

本工事は、鳥取県県土整備部週休２日工事実施要領（平成30年3月12日付第201700297117号県土整備部長通知）の対象工事である。https://www.pref.tottori.lg.jp/277262.htm に掲載された本工事調達公告日時点で最新の同要領の規定に従い週休２日工事を実施すること。

ただし、港湾工事及び漁港工事は、通期の週休２日の補正を適用しない。

そのため、月単位の週休２日に満たない場合、月単位の週休２日の補正係数を除し、請負代金額の減額変更を行う。

【農業農村整備工事】

本工事は、鳥取県農業農村整備事業工事週休２日工事試行実施要領（令和6年5月8日付第202400036012号農林水産部農業振興局農地・水保全課長通知）の対象工事である。https://www.pref.tottori.lg.jp/301989.htmに掲載された本工事調達公告日時点で最新の同要領の規程に従い週休２日工事を実施すること。

用地関係

①（用地、物件等未処理）

本工事区間の＿＿＿＿＿＿には＿＿＿＿＿＿＿＿があるので、監督員と打合せのうえ施工を行うこと。

なお、＿＿＿＿頃＿＿＿＿＿＿の予定である。

支障物件

①（埋設物等の事前調査）

工事に係る地下埋設物等の事前調査については、〔未調査・（水道・下水道・電気・通信・ガス・その他＿＿＿）について調査済み〕である。

事前調査済みのうち本工事区域内で埋設が確認されている地下埋設物等は、（水道・下水道・電気・通信・ガス・その他＿＿＿）であるため、各管理者の立会を求めて埋設位置等の確認を行うこと。

その他埋設が想定される未調査の埋設物については事前に確認を行うとともに、管理者不明の埋設物等が確認された場合は、監督員に報告すること。

②（支障物件）

＿＿＿＿＿＿＿＿の施工に当って、＿＿＿＿＿＿＿＿が支障となっているが、＿＿＿＿＿＿までに移設が完了する見込である。

予定どおり処理できなかった場合は別途協議する。

③（立木の置き場所）

工事用地内の立木は伐採し、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿に置くこと。

公害対策

①（低騒音型・低振動型建設機械）

本工事のうち施工箇所：＿＿＿＿＿＿＿＿については、特に生活環境を保全する必要があるので、下記工種の施工に当たっては、低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規定（国土交通省告示、平成13年４月９日改正）に基づき指定された建設機械を使用するものとする。

該当工種：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿、施工機械：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

安全対策	①（交通安全施設等） 一般交通等に支障を及ぼさないよう十分注意して施工すること。~~なお、交通整理の配置人員及び必要日数として、以下のとおり見込んでいるが、警察等との協議により変更が生じた場合は別途協議すること。~~ ~~交通誘導員Ａ　　人　交替要員　　人　１日あたり合計　　人　配置日数　　日　工事全体合計　　人・日~~ ~~交通誘導員Ｂ　　人　交替要員　　人　１日あたり合計　　人　配置日数　　日　工事全体合計　　人・日~~ ~~警備業法に規定する警備員を配置する場合においては、交通誘導員Ａ、交通誘導員Ｂの定義は以下のとおりとする。~~ ~~交通誘導員Ａとは、警備業法第２条第４項に規定する警備員であり、警備員等の検定等に関する規則第１条第４号に規定する交通誘導警備業務に従事する者で、交通誘導警備業務に係る１級検定合格警備員又は２級検定合格警備員をいう。~~ ~~また、交通誘導員Ｂとは、警備業法第２条第３項に規定する警備業者の警備員で交通誘導員Ａ以外の交通の誘導に従事する者をいう。~~ ~~なお、自社の従業員で交通整理を行う場合は、警備業法第14条で規定する以外の者とし、安全教育、安全訓練等を十分行うこと。この場合は交通誘導員Ｂを配置していることとみなす。~~
濁水処理	~~①　（濁水処理）~~ ~~工事で発生する濁水に対しては、濁水処理を行うものとし、その工法については、設計図書によるものとする。なお、これにより難い場合は別途協議すること。~~ ~~また、舗装の切断作業時に発生する排水の処理についても、舗装の切断作業時に発生する排水の処理について（平成24年3月27日付第201100201443号水・大気環境課長通知）（https://www.pref.tottori.lg.jp/secure/1141896/120327hosousetudan.pdf）に基づいて適正に処理すること。~~
建設副産物の処理	【建設発生土（処理）】 建設発生土は、再生資源の利用の促進に係る特記仕様書（https://www.pref.tottori.lg.jp/312034.htm）により適切に対応すること。 ~~①（他工事等流用）~~ ~~建設発生土は　　市・町・村　　地内の　　工事現場に運搬（片道運搬距離　　km）するものとする。~~ ~~②（建設技術センター）~~ ~~建設発生土は　　市・町・村　　地内のセンター事業所に運搬（片道運搬距離　　km）するものとする。なお、処理費として１㎥当り　　円をセンターに支払うこと。~~ ~~センター事業所へ搬出する土砂の土質は、各事業所が指定している土質性状同等以上とすること。（土質性状（記載例）砂質土、コーン指数300kN/㎡以上）~~ ③（民間残土受入地） 建設発生土は大山町加茂地内の㈱赤松産業に運搬（道運搬距離11.8km）するものとする。なお、処理費として１㎥当り1,730円を㈱赤松産業に支払うこと。 民間残土受入地へ搬出する土砂の土質は、各受入地が指定している土質性状同等以上とすること。（土質性状（記載例）砂質土、コーン指数300kN/㎡以上） ~~④（土質改良プラント）~~ ~~建設発生土は　　市・町・村　　地内の　　に運搬（片道運搬距離　　km）するものとする。なお、処理費として１㎥当り　　円を　　に支払うこと。~~ ~~土質改良プラントへ搬出する土砂の土質は、各プラントが指定している土質性状同等以上とすること。（土質性状（記載例）砂質土、コーン指数300kN/㎡以上）~~ ~~【コンクリート塊・アスファルト塊・建設発生木材（処理）】~~ ~~①（分別解体等）~~ ~~コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材は、現場内において分別解体するものとする。その方法は、別表のとおりとする。なお、その費用を下記のとおり見込んでいる。~~ ~~コンクリート塊　１㎥当り　　円~~ ~~アスファルト塊　１㎥当り　　円~~ ~~建設発生木材　　１㎥当り　　円~~ ~~②（他工事等流用）~~ ~~〔Co雑割材・　　〕は、　　市・町・村　　地内　　工事で使用するものとする。~~

建設副産物の処理

③（バイオマス発電燃料加工施設への搬出）

建設発生木材は＿＿＿市・町・村＿＿＿＿地内の＿＿＿＿のバイオマス発電燃料加工施設への搬出（片道運搬距離＿＿＿km）を想定し、１ｔ当り＿＿＿＿円を見込んでいる。搬出先を変更する場合には、理由を付して協議を行うこと。

なお、公共工事で伐採する支障木は、一般木質バイオマスとして区分される。一般木質バイオマスであることは、立木の所有者（鳥取県）自らにより由来を証明することを基本とするが、伐採・運搬を行う者が由来を証明する場合は、鳥取県森林組合が登録・審査した認定団体でなければならない。当該工事は、〔所有者（鳥取県）・伐採・運搬を行う者〕により由来の証明を行うこととしているため、着手にあたっては事前に監督員に確認すること。

④（木材市場等へ売却）

建設発生木材は＿＿＿市・町・村＿＿＿＿地内の＿＿＿＿への搬出（片道運搬距離＿＿＿km）を想定し＿＿＿円を見込んでいる。これは、他の木材市場等への売却を妨げるものではないが、売却先を変更する場合の理由を付して協議すること。⑤（再資源化施設へ搬出）

コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材等は、再生資源として、下記の再資源化施設等への搬出を見込んでいる。これは、他の施設へ搬出を妨げるものではないが搬出先を変更する場合は理由を付して協議を行うこと。再資源化施設業者等と書面による委託契約を行うとともに、運搬車両ごとにマニフェストを発行するものとする。

なお、再資源化施設へ搬出が完了したときは、書面により報告すること。

（施設の名称・受入れ費用）　コンクリート塊　大山町羽田井646-1の㈲きのえ
（運搬距離4.6km）、費用　１ｔ当り2600円（有筋）
アスファルト塊　大山町羽田井646-1の㈲きのえ
（運搬距離4.6km）、費用　１ｔ当り2200円
建設発生木材＿＿＿市・町・村＿＿＿地内の＿＿＿＿
（運搬距離＿＿＿km）、費用　１ｔ当り＿＿＿円
その他（　　）＿＿＿市・町・村＿＿＿地内の＿＿＿＿
（運搬距離＿＿＿km）、費用　１ｔ当り＿＿＿円

（受入れ時間帯）　８時～１７時（平日）

（受入れ条件）　ア　路盤材、土砂、金属片等が混入していないこと。
イ　コンクリート塊、アスファルト塊の径は500㎜以下であること。
ウ　建設発生木材に関しては、泥等の付着がなく、径＿＿＿cm以下、長さ＿＿＿m以下であること。
エ　２次公害発生の恐れのある物質（廃油等）を含まないこと。

⑥（最終処理等）

＿＿＿については、＿＿＿市・町・村＿＿＿＿地内の産業廃棄物処理場への搬出（片道運搬距離＿＿＿km）を想定し、その費用として１ｔ当り＿＿＿円を見込んでいる。

これは、他の施設へ搬出を妨げるものではないが、搬出先を変更する場合は協議を行うこと。

⑦（産業廃棄物の処理に係る税）

産業廃棄物の処理に係る税に相当する額を、＿＿＿＿円見込んでいる。

⑧（伐木工の数量）

伐木工は伐木工歩掛（平成27年８月12日付第201500076595号鳥取県県土整備部技術企画課長通知）に基づき参考数量で算出しているので、実績について見積もり等により監督員に協議を行うこと。

⑨（建設発生木材の出来形数量）

建設発生木材の運搬量、搬出量は出来形数量に応じて設計変更を行う。そのため、次のとおり数量管理を行うこと。

工　種	項　目	規　格	摘　要
建設発生木材運搬量	現場において運搬車の計測を行うこと。 平均的な１断面を計測。計測に当たっては、頂部に最低２箇所の折れ点を設けること。 断面積に荷台の延長を乗じて体積を算定する。	運搬車全数の測定を行うこと。また、10台に１台の割合で写真管理を行うこと。ただし、搬出台数が10台に満たない場合は、２台以上写真管理を行うこと。 なお、マニフェストで運搬量（体積(空m3)）が確認出来る場合は、計測、写真管理は不要とする。	
建設発生木材搬出量	マニフェスト又は伝票管理を行うこと。	運搬車全数の管理を行うこと。	伝票は処分業者が発行したものでなければならない。

⑩（マニフェスト）

産業廃棄物の運搬又は処分を他人に委託するときは、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づきマニフェストを作成すること。ただし、一般廃棄物や有価物は不要である。

建設副産物の使用	①　（建設発生土の使用） ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿工事から〔本工事運搬・相手方運搬〕の建設発生土を受入れ、使用箇所：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿に使用する。 なお、建設発生土は、再生資源の利用の促進に係る特記仕様書（https://www.pref.tottori.lg.jp/312034.htm）により適切に対応すること。 ②（再生資材の使用） ア　Co雑割材は、＿＿＿＿工事から運搬し、使用箇所：＿＿＿＿に使用する。 イ　アスファルト・コンクリート切削殻等は、＿＿＿＿工事から運搬し、使用箇所：＿＿＿＿に使用する。 ウ　再生クラッシャラン〔規格：Rc-　　〕は、使用箇所：＿＿＿＿に使用する。 エ　再生コンクリート砂〔規格：RS-　　〕は、使用箇所：＿＿＿＿に使用する。 オ　再生加熱アスファルト混合物〔規格：　　〕は、使用箇所：＿＿＿＿に使用する。 カ　その他再生資材〔資材名：　　〕〔規格：　　〕は、使用箇所：＿＿＿＿に使用する。 キ　本工事において、再生クラッシャランの使用は上記ウに記載のものを想定している。当該砕石について、受注者が再生資源化施設側と供給状況等について協議し、再資源化施設側から書面により供給の確保ができない旨の回答があった場合には、他の再生砕石を使用することとし、設計変更の対象とする。その上で他の再生砕石の確保も難しいと判断された場合には、新材を使用することとし、設計変更の対象とする。 ク　本工事において、粒度調整砕石の使用は新材を想定している。ただし、受注者が再生材の使用を希望する場合には、受注者において供給状況を確認し、再生材の使用について協議することとし、設計変更の対象とする。
工事用道路	①　（農地の一時転用について） 本工事を施工するために必要な仮設道路等を農地に設置する目的で、受注者が農地を借地する場合は、事前に所轄農業委員会と協議を行い、農地法第５条第１項に基づく農地一時転用の許可を得ること。 【令和５年４月１日時点で、前工事等の請負業者が一時転用している農地を継続して利用する場合は、以下も記載する。（該当がなければ記載を削除）】 受注者は、前工事等の請負業者が農地一時転用している農地を継続して利用する場合、速やかに変更報告書を作成の上、所轄農業委員会へ提出し、工事完了後はその旨を連絡すること。 ②　（農地の賃貸借） ア　＿＿＿＿の用途に使用するため、＿＿＿＿市・町・村＿＿＿＿番地を賃貸借すること。 イ　土地賃貸借契約書に「鳥取県との建設工事請負契約に基づき、土地の貸借権は鳥取県が有することとし、原状復旧の責は鳥取県が負い、受注者がその任に当たるものとする。」を明記すること。 ウ　賃貸人に賃貸借料を支払うこと。 エ　工事完了後、速やかに農地の原状に復旧すること。 オ　イにより契約した地番における、農地一時転用許可は不要である。
その他	①（自社施工） 本工事においては、＿＿（※）＿＿＿＿＿＿＿＿工（＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿工を除く）のうち少なくとも＿＿＿＿千円までの部分は、鳥取県県土整備部自社施工対象工事適正実施要領に定めるところにより自社施工しなければならない。 ※該当する細別（レベル４）を記載する。 ②（工事名称） 工事標示板に記載する名称は、八重地区水路改修工事（2工区）　とする。 なお、工事標示板には、原則として県産木材を使用すること。また、その他の保安施設等についても積極的に県産木材を使用すること。

その他

③（景観評価）

ア　本工事は、鳥取県公共事業景観形成指針に基づく、景観評価対象事業〔である・ではない〕。

イ　景観評価対象事業の場合、施工にあたっては設計図書によるほか、必要に応じて監督員と協議すること。

④（工事成績評定）

本工事は、工事成績評定要領（以下「評定要領」という。）に基づく工事成績評定の対象と〔する・しない〕。工事成績評定の対象外とするのは以下の〔ア・イ・ウ・エ・オ〕に該当するため。

ア　請負対象設計金額（請負契約の対象となる部分の設計金額をいい、請負契約締結後に請負対象設計 金額を変更した場合にあっては、当初請負対象設計金額とする。以下同じ。）が、５００万円未満の 一般土木工事及び２５０万円未満の建築・設備工事

イ　鳥取県の管理する道路（道路法（昭和27年法律第180号）第２条第１項に規定する道路に限る。）　・河川・湖沼・港湾を維持し、修繕し、又は管理（公共土木施設災害復旧事業費国庫負担法（昭和26 年法律第97号）第２条第２項に規定する災害復旧事業として行われるものを除く。）することを目的として発注された工事（年間維持、港湾浚渫、河川掘削、伐開、塵芥処理工事）

ウ　災害等の初期活動で緊急かつ迅速な対応が不可欠である緊急応急工事

エ　機器の納品、部品取替等の建設工事（融雪施設点検補修、道路照明灯点検補修、標識灯設置工事等）

オ　工事目的物を伴わない建設工事（旧橋撤去、残土撤去・運搬工事等）

⑤（監督体制）

本工事の監督体制は〔一般・重点〕監督とする。

重点監督の工種は＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿とし、その他の工種は一般監督とする。

なお、鳥取県県建設工事低入札価格調査制度対象工事となった場合は、別途通知する。

⑥（三者協議）

本工事は、＿（対象工事の区分を記載）＿工事であり、工事着工までに、施工条件及び施工の留意点等を確認するため、発注者並びに当該工事の測量等業務受注者及び施工受注者の三者で協議するものとする。（重点監督工事等に適用）

⑦（技能士常駐）

本工事には、下記のとおり鳥取県土木工事共通仕様書特記事項に基づく技能士常駐対象工種が含まれており、該当工種の作業期間は、技能士が工事現場に常駐しなければならない。

ア　技能士種別：＿＿＿技能士＿、該当工種：＿＿＿工＿、特記事項根拠：＿＿頁

イ　技能士種別：＿＿＿技能士＿、該当工種：＿＿＿工＿、特記事項根拠：＿＿頁

ウ　技能士種別：＿＿＿技能士＿、該当工種：＿＿＿工＿、特記事項根拠：＿＿頁

⑧（電子納品）

情報共有システムを利用する工事は、原則として工事完成図書を電子納品すること。ただし、止むを得ない事情がある場合は、監督員と協議の上、紙書類によることができる。

情報共有システムを利用しない工事であっても、受注者が電子納品を希望する場合は、監督員と協議の上、電子納品対象工事とする。

電子納品に当たっては、https://www.pref.tottori.lg.jp/171188.htmに掲載された本工事調達公告日時点で最新の「鳥取県電子納品・情報共有運用ガイドライン」（以下「ガイドライン」という。）に従い適正に納品すること。

オンライン電子納品を実施する場合は、https://www.pref.tottori.lg.jp/318010.htmに掲載された本工事調達公告日時点で最新のオンライン電子納品試行要領（令和6年6月12日付第202400071599号技術企画課長通知）に従うこと。

⑨（情報共有システム）

予定価格４千万円以上の工事は、原則として情報共有システム（以下「システム」という。）を利用することとする。ただし、止むを得ない事情等によりシステムを利用できない場合は、監督員と協議の上、紙書類によることができる。

予定価格４千万円未満の工事であっても、受注者がシステムの利用を希望する場合は、監督員と協議の上、システムを利用することができる。

システム利用に当たっては、ガイドラインに従い適正に実施すること。

⑩（寒中コンクリート）

本工事は、寒中コンクリートとして施工を行わなければならない期間があるので、適正に実施すること。なお、寒中コンクリートの養生費用については、「寒中コンクリートの養生費用について」（平成23年12月７日付第201100123529号県土整備部長通知）に基づいて処理することとし、設計変更の対象とする。

その他

⑪（建設機械の賃料の採用単価）

ア　建設機械の賃料について、ラフテレーンクレーン及び高所作業車以外の建設機械は長期割引単価を標準としている。

通常単価を採用した建設機械〔無し・有り＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）〕

イ　ラフテレーンクレーン及び高所作業車について、１ヶ月以上の長期利用に当たるものは長期割引単価を採用し、１ヶ月未満の利用に当たるものは通常単価を採用している。

本工事の＿＿＿工で使用を想定しているラフテレーンクレーン（規格＿＿＿t吊）の採用単価は（長期割引単価・通常単価）（建設物価＿＿＿月号、＿＿＿頁）を採用し、本工事の＿＿＿工で使用を想定している高所作業車（規格＿＿）の採用単価は（長期割引単価・通常単価）（建設物価＿＿＿月号、＿＿＿頁）を採用している。

⑫（現場環境改善）

本工事は、現場環境改善（率計上分）実施対象工事と〔する・しない〕。

下表の内容のうち原則として各費目（仮設備関係、営繕関係、安全関係及び地域連携）ごとに１実施内容ずつ（いずれか１項目のみ２実施内容）の合計５つの実施内容を実施すること。港湾及び漁港事業は、項目に防災・危機管理関係を含めることができる。

実施に当たっては、施工計画書に実施内容及び実施時期を記載し、実施後に監督員に写真等を提出すること。

地域の状況・工事内容により組み合わせ、費目数及び実施内容を変更する場合は、原則として設計変更は行わないが、その内容（目的に資するものであること）について監督員の確認を受けること。

１内容も実施困難な場合は、監督員と協議の上、設計変更により率計上は行わない。

計上費目	実施内容
仮設備関係	１．用水・電力等の供給設備，２．緑化・花壇 ３．ライトアップ施設，４．見学路及び椅子の設置 ５．昇降設備の充実，６．環境負荷の低減
営繕関係	１．現場事務所の快適化（女性用更衣室の設置を含む） ２．労働者宿舎の快適化 ３．デザインボックス（交通誘警備員待機室） ４．現場休憩所の快適化 ５．健康関連設備及び厚生施設の充実等
安全関係	１．工事標識・照明・安全具等安全施設のイメージアップ（電光式標識等） ２．盗難防止対策（警報機等） ３．避暑（熱中症予防）・防寒対策
地域連携	１．完成予想図，２．工法説明図，３．工事工程表 ４．デザイン工事看板（各工事ＰＲ看板含む） ５．見学会等の開催（イベント等の実施含む） ６．見学所（インフォメーションセンター）の設置及び管理運営 ７．パンフレット・工法説明ビデオ ８．地域対策費等（地域行事等の経費を含む） ９．社会貢献
防災・危機管理関係（港湾・漁港事業）	１．防災訓練（地震・台風等の自然災害に対する訓練）

⑬（熱中症対策）

熱中症対策について https://www.pref.tottori.lg.jp/291941.htm に掲載の熱中症予防対策資料を参考に熱中症予防対策を実施すること。

また、気象庁から高温注意報（最高気温３５℃以上が予想される場合）が発表された日においては、作業の中断、作業時間の短縮を行うか、十分な水分、塩分の摂取のほか休憩場所の整備及び十分な休憩時間を確保するなどの熱中症予防対策を確実に実施したうえで作業を行うこと。

その他

~~⑭（現場管理費補正）~~

~~【治山工事、林道工事以外】（該当しない場合は削除）~~

~~本工事は、熱中症対策に資する現場管理費補正の試行要領（令和元年6月12日付第201900066875号県土整備部長通知）の対象工事である。~~

~~熱中症対策に資する現場管理費補正の適用を希望する場合は、https://www.pref.tottori.lg.jp/285759.htm に掲載された本工事調達公告日時点で最新の同要領の規定に従い、工事着手前に提出する施工計画書に、工事期間中における気温の計測方法及び計測結果の報告方法を記載すること。計測結果は施工計画書に基づき，計測結果の資料を工期末の14日前までに提出すること。~~

~~【治山工事、林道工事】（該当しない場合は削除）~~

~~本工事は、治山事業及び林道事業における熱中症対策に資する現場管理費補正の試行要領（令和元年7月31日付第201900109943号農林水産部森林・林業振興局長通知及び第201900108860号県土整備部治山砂防課長通知）の対象工事である。~~

~~熱中症対策に資する現場管理費補正の適用を希望する場合は、https://www.pref.tottori.lg.jp/318163.htm に掲載された本工事調達公告日時点で最新の同要領の規程に従い、工事着手前に提出する施工計画書に、工事期間中における気温の計測方法及び計測結果の報告方法を記載すること。計測結果は施工計画書に基づき，計測結果の資料を工期末の14日前までに提出すること。~~

~~⑮（日本芝生産地への配慮）~~

~~日本芝の生産に配慮した植生工について（令和2年2月27日付第201900299342号県土整備部長通知）（https://www.pref.tottori.lg.jp/290178.htm）に基づき、日本芝を生産するほ場と、その前後も含めたほ場に隣接する法面においては、植生工にバミューダグラスの使用を禁止する。~~

~~ア　〔張芝工・筋芝工〕は、日本芝の〔野芝・高麗芝〕を使用すること。~~

~~イ　〔植生基材吹付工・客土吹付工・種子散布工・枠内吹付工〕に使用する種子に「バミューダグラス」は使用しないこと。配合種子は監督員と協議のうえ決定すること。~~

~~ウ　〔わら芝工・植生シート工・植生マット工〕に使用する種子に「バミューダグラス」は使用しないこと。バミューダグラスの代替えの種子として〇〇を使用し、材料費として1m2当り____円を見込んでいる。~~

~~⑯（ICT活用工事[受注者希望型(LightICTを含む)]）~~

~~【農業農村整備工事以外】（該当しない場合は削除）~~

~~本工事は、受注者希望型(LightICTを含む)の対象工事であるので、最新の「ICT活用工事特記仕様書（受注者希望型）」によること。~~

~~仕様書の改定状況はhttps://www.pref.tottori.lg.jp/269460.htmを参照すること。~~

~~【農業農村整備工事】（該当しない場合は削除）~~

~~本工事は、受注者希望型(LightICTを含む)の対象工事であるので、最新の「鳥取県農林水産部ICT活用工事実施要領」によること。~~

~~実施要領の改定状況はhttps://www.pref.tottori.lg.jp/301989.htmを参照すること。~~

~~⑰（土石流の発生・到達するおそれのある現場での工事）~~

~~本工事は、労働安全衛生規則第２編第１２章「土石流による危険の防止」に定める、土石流が発生する恐れのある現場において行う工事である。~~

~~安全対策について、https://www.pref.tottori.lg.jp/295476.htmに掲載の「土石流の発生・到達するおそれのある現場での工事における安全対策について」に基づいて実施すること。~~

~~⑱（標示板の設置）~~

~~本工事は「防災・減災、国土強靭化のための５か年加速化対策」に基づく工事であり、標示板の工事種類について「国土強靭化対策工事（５か年加速化対策）」と標記すること。~~

~~標示板の記載及び記載内容については、道路・河川工事現場における標示施設の設置の徹底について（令和3年6月1日付け　国土交通省大臣官房技術調査課建設システム管理企画室長　事務連絡）を参考にすること。~~

~~⑲（CCUS活用推奨工事[受注者希望型]）~~

~~本工事は、受注者希望型の対象工事である。CCUSの活用を希望する場合は、最新の「鳥取県建設キャリアアップシステム活用推奨工事（受注者希望型）特記仕様書」によること。~~

~~仕様書の改定状況はhttps://www.pref.tottori.lg.jp/291820.htmを参照すること。~~

~~⑳（遠隔臨場）~~

~~本工事は、遠隔臨場の対象工事である。遠隔臨場の活用を希望する場合は、https://www.pref.tottori.lg.jp/307254.htmに掲載された本工事調達公告日時点で最新の「鳥取県建設工事・測量等業務の遠隔臨場に関する実施要領」によること。~~

~~㉑（施工管理システム）~~

~~本工事は、施工管理システムの利用可能工事(試行)である。施工管理システムの利用を希望する場合は、事前に監督員と協議を行うこと。なお、利用に関するアンケート調査に協力すること。対象とする施工管理システムは以下のホームページに掲載されたものである。~~

~~https://www.pref.tottori.lg.jp/310672.htm~~

※ 明示する項目を_____部分に記入または追記し、不要部分は「－」で削除して使用すること。

誰もが住んでみたい村に
農業農村整備

令和７年度
農業水路等長寿命化・防災減災事業

八重地区水路改修工事(２工区)

金抜き設計書

（当初）

大山町

事業名	農業水路等長寿命化・防災減災事業
工事名	八重地区水路改修工事(２工区)

項　目　名	内　　容
事業主体名	大山町
事業名	農業水路等長寿命化・防災減災事業
地区名	
工事名	八重地区水路改修工事(２工区)
施工場所	大山町八重
工事番号	
工事区分	
積算区分	当初積算
地域区分	鳥取
地区区分	ブロック番号９
工期	
積算体系年月	令和７年４月
単価期適用年月	令和７年９月―Ａ
歩掛期適用年番号	令和６年４９号―Ａ
電力会社名	中国電力

事業名	農業水路等長寿命化・防災減災事業
工事名	八重地区水路改修工事(２工区)

番号	項　目　名	規　　格	数　量	単位	金　額	備　考
	請負工事費					
	・工事価格					
	・消費税相当額（１０％）					
	工事内容					

事業名	農業水路等長寿命化・防災減災事業
工事名	八重地区水路改修工事(２工区)

項　目　名	内　　容
工事名	
工事区分	
積算区分	当初積算
積算体系区分	【一般土木工事(明細型)】
工種区分	水路工事
工種体系区分	その他土木工事（１）（明細型）
工事工種体系年番号	令和７年４号［４号］
契約保証費	計上する
前払金支出割合	35%を超え40%以下
電力区分	低圧・業者持・１年未満
冬期補正	なし
豪雪補正	１０％
亜熱帯補正	なし
公社割引補正	なし
冬期対象期間補正	0.00%
施工地域区分(H31迄)	補正なし
週休２日補正	補正なし
冬期補正（現場管理費）	0.00%
熱中症対策補正（現場管理費）	0.00%
施工地域区分	補正なし
現場環境改善費の計上	する
3次元出来形管理補正(共通仮設費)	補正なし
3次元出来形管理補正(現場管理費)	補正なし

事業名	農業水路等長寿命化・防災減災事業
工事名	八重地区水路改修工事(２工区)

項　目　名	数　量	単位	金　額	備　考
1 工事価格				
2 ・工事原価				
3 純工事費				
4 ・・直接工事費				
5 ・・・直接工事費（仮設工を除く）	1.000	式		
6 ・・間接工事費				
7 ・・・共通仮設費				
8 ・・・・運搬費～営繕費等				
9 ・・・・現場環境改善費				
10 ・・・・・現場環境改善費（率計上）				
11 ・・・現場管理費				
12 ・・・・現場管理費（率計上）				
13 ・一般管理費等				
14 処分費等（直接工事費の内数）				
15 法定福利費概算額(工事価格の内数)				

事業名	農業水路等長寿命化・防災減災事業
工事名	八重地区水路改修工事(２工区)

工　種　名　称	数　量	単位	金　額	備　考
直接工事費（仮設工を除く）内訳				
直接工事費（仮設工を除く）	1.000	式		
・直接工事費	1.000	式		
・・八重地区水路改修工事	1.000	式		
・・・ 土工	1.000	式		
・・・ 舗装工	1.000	式		
・・・ 水路工	1.000	式		
・・・ 進入路工	1.000	式		
・・・ 取水工	1.000	式		

事業名	農業水路等長寿命化・防災減災事業
工事名	八重地区水路改修工事(２工区)

名　称（規　格）	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
直接工事費（仮設工を除く）					
・直接工事費	1.000	式			
・・八重地区水路改修工事	1.000	式			
・・・ 土工	1.000	式			1 式当たり
SP 床掘り 土砂,上記以外(小規模),-,-	40.000	m3			歩Ａ・単Ａ Ｓ単　10号
人力土工(盛土・埋戻) 粘性土・礫質土,埋戻,はね付け+まき出し,振動ｺﾝﾊﾟｸﾀ(Ｉ)	37.000	m3			歩Ａ・単Ａ Ｓ単　 1号
SP 土砂等運搬 小規模,ﾊﾞｯｸﾎｳ山積0.28m3(平積0.2m3),土砂(岩塊･玉石混り土含む),無し,1	3.000	m3			歩Ａ・単Ａ Ｓ単　11号
3.0km以下					
残土処分費 赤松産業	3.000	m3			歩Ａ・単Ａ Ｓ単　 2号
人力床均し 土砂	44.000	㎡			歩Ａ・単Ａ Ｓ単　25号
SP 法面整形 盛土部,無し,無し,ﾚｷ質土､砂及び砂質土､粘性土,あり	78.000	㎡			歩Ａ・単Ａ Ｓ単　12号
【構造物取壊し】 有筋,なし,機械,昼間施工,しない	7.700	m3			歩Ａ・単Ａ Ｓ単　 5号
SP 殻運搬 ｺﾝｸﾘｰﾄ(鉄筋)構造物とりこわし,機械積込,無し,5.7km以下	7.700	m3			歩Ａ・単Ａ Ｓ単　13号
鉄筋コンクリート処分費 きのえ	19.300	ton			歩Ａ・単Ａ Ｓ単　 3号
合　　計					
・・・ 舗装工	1.000	式			1 式当たり
SP 舗装版切断 ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版,15cm以下,-,-	24.400	m			歩Ａ・単Ａ Ｓ単　16号
SP 舗装版破砕 ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版,無し,不要,15cm以下,-,有り,あり	13.100	㎡			歩Ａ・単Ａ Ｓ単　15号
SP 殻運搬 舗装版破砕,機械積込(舗装版厚15cm以下),無し,6.5km以下	0.520	m3			歩Ａ・単Ａ Ｓ単　14号
アスファルト処分費 きのえ	1.220	ton			歩Ａ・単Ａ Ｓ単　 4号
SP 基層（車道・路肩部） 1.4m未満1層仕上厚50mm超70mm以下,40mm,各種(2.30以上2.40t/m3未満),ﾌﾟﾗ	13.100	㎡			歩Ａ・単Ａ Ｓ単　22号
ｲﾑｺｰﾄ各種					
SP 上層路盤（車道・路肩部） 路盤材,粒度調整砕石 M-30,-,-,1層施工,あり,0mm,150mm	11.200	㎡			歩Ａ・単Ａ Ｓ単　21号
合　　計					
・・・ 水路工	1.000	式			1 式当たり
角フリューム450布設	121.800	m			歩Ａ・単Ａ Ｔ単　 1号
重圧管布設 φ600	6.100	m			歩Ａ・単Ａ Ｔ単　 3号
合　　計					
・・・ 進入路工	1.000	式			1 式当たり
蓋撤去・再設置 BF450用	33.000	枚			歩Ａ・単Ａ Ｔ単　 2号
合　　計					
・・・ 取水工	1.000	式			1 式当たり
取水工Ｉ型	4.000	箇所			歩Ａ・単Ａ Ｔ単　 4号
取水工Ⅱ型	5.000	箇所			歩Ａ・単Ａ Ｔ単　 5号
合　　計					

事業名	農業水路等長寿命化・防災減災事業
工事名	八重地区水路改修工事(２工区)

コード	名　称（規　格）	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
	＊＊＊　S単－ 1号　＊＊＊ 人力土工(盛土・埋戻)					
	人力土工(盛土・埋戻) 粘性土・礫質土,埋戻,はね付け+まき出し,振動ｺﾝﾊﾟｸﾀ(Ⅰ)		m3			歩A・単A
	＊＊＊　S単－ 2号　＊＊＊ 残土処分費					
	残土処分費 赤松産業		m3			歩A・単A
	＊＊＊　S単－ 3号　＊＊＊ 鉄筋コンクリート処分費					
	鉄筋コンクリート処分費 きのえ		ton			歩A・単A
	＊＊＊　S単－ 4号　＊＊＊ アスファルト処分費					
	アスファルト処分費 きのえ		ton			歩A・単A
	＊＊＊　S単－ 5号　＊＊＊ 【構造物取壊し】					
	【構造物取壊し】 有筋,なし,機械,昼間施工,しない		m3			歩A・単A
	＊＊＊　S単－ 6号　＊＊＊ 【排水構造物工】					
	【排水構造物工】 U型側溝,昼間施工,L=2000,1000kg/個以下,なし,-,-,基礎砕石の施工無し,再利		m			歩A・単A
	用撤去を行なわない					
	＊＊＊　S単－ 7号　＊＊＊ 【排水構造物工】					
	【排水構造物工】 蓋版,昼間施工,ｺﾝｸﾘｰﾄ・鋼製,40kgを超え170kg/枚以下,なし,-,-,再利用撤去を		枚			歩A・単A
	行なう					
	＊＊＊　S単－ 8号　＊＊＊ 【排水構造物工】					
	【排水構造物工】 蓋版,昼間施工,ｺﾝｸﾘｰﾄ・鋼製,40kgを超え170kg/枚以下,なし,-,-,再利用撤去を		枚			歩A・単A
	行なわない					
	＊＊＊　S単－ 9号　＊＊＊ 硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管人力布設					
	硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管人力布設 VU,150mm,直管(両差し口),4.0m管,0箇所		m			歩A・単A
	＊＊＊　S単－ 10号　＊＊＊ SP 床掘り					
	SP 床掘り 土砂,上記以外(小規模),-,-		m3			歩A・単A
	＊＊＊　S単－ 11号　＊＊＊ SP 土砂等運搬					
	SP 土砂等運搬 小規模,ﾊﾞｯｸﾎｳ山積0.28m3(平積0.2m3),土砂(岩塊・玉石混り土含む),無し,13.0		m3			歩A・単A
	km以下					
	＊＊＊　S単－ 12号　＊＊＊ SP 法面整形					
	SP 法面整形 盛土部,無し,無し,ﾚｷ質土､砂及び砂質土､粘性土,あり		㎡			歩A・単A
	＊＊＊　S単－ 13号　＊＊＊ SP 殻運搬					
	SP 殻運搬 ｺﾝｸﾘｰﾄ(鉄筋) 構造物とりこわし,機械積込,無し,5.7km以下		m3			歩A・単A
	＊＊＊　S単－ 14号　＊＊＊ SP 殻運搬					
	SP 殻運搬 舗装版破砕,機械積込(舗装版厚15cm以下),無し,6.5km以下		m3			歩A・単A
	＊＊＊　S単－ 15号　＊＊＊ SP 舗装版破砕					
	SP 舗装版破砕 ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版,無し,不要,15cm以下,-,有り,あり		㎡			歩A・単A
	＊＊＊　S単－ 16号　＊＊＊ SP 舗装版切断					
	SP 舗装版切断 ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版,15cm以下,-,-		m			歩A・単A
	＊＊＊　S単－ 17号　＊＊＊ SP 基礎砕石					
	SP 基礎砕石 12.5cmを超え17.5cm以下,計上する,あり,再生クラッシャラン RC-40 40～0mm		㎡			歩A・単A
	＊＊＊　S単－ 18号　＊＊＊ SP コンクリート					
	SP コンクリート 無筋・鉄筋構造物,人力打設,計上する,-,一般養生,-,無し,-,18-8-40(高炉B) W		m3			歩A・単A
	/C65%					
	＊＊＊　S単－ 19号　＊＊＊ SP 型枠					
	SP 型枠 一般型枠,均しｺﾝｸﾘｰﾄ		㎡			歩A・単A

事業名	農業水路等長寿命化・防災減災事業
工事名	八重地区水路改修工事(２工区)

コード	名　称（規　格）	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
	＊＊＊　S単－ 20号　＊＊＊ SP ボックスカルバート機械据付					
	SP ボックスカルバート機械据付 据付,2.0m/個,0＜B≦1.25　0＜H≦1.25,無し,無し,あり		m			歩A・単A
	＊＊＊　S単－ 21号　＊＊＊ SP 上層路盤（車道・路肩部）					
	SP 上層路盤（車道・路肩部） 路盤材,粒度調整砕石 M-30,-,-,1層施工,あり,0mm,150mm		㎡			歩A・単A
	＊＊＊　S単－ 22号　＊＊＊ SP 基層（車道・路肩部）					
	SP 基層（車道・路肩部） 1.4m未満1層仕上厚50mm超70mm以下,40mm,各種(2.30以上2.40t/m3未満),ﾌﾟﾗｲﾑｺ		㎡			歩A・単A
	ｰﾄ各種					
	＊＊＊　S単－ 23号　＊＊＊ モルタル現場練合わせ					
	モルタル現場練合わせ 洗砂(細目),1:3		m3			歩A・単A
	＊＊＊　S単－ 24号　＊＊＊ モルタル現場練合わせ					
	モルタル現場練合わせ 洗砂(細目),1:2		m3			歩A・単A
	＊＊＊　S単－ 25号　＊＊＊ 人力床均し					
	人力床均し 土砂		㎡			歩A・単A
	＊＊＊　T単－ 1号　＊＊＊ 角フリューム450布設					
			m			歩A・単A
	＊＊＊　T単－ 2号　＊＊＊ 蓋撤去・再設置					
	BF450用		枚			歩A・単A
	＊＊＊　T単－ 3号　＊＊＊ 重圧管布設					
	φ600		m			歩A・単A
	＊＊＊　T単－ 4号　＊＊＊ 取水工Ⅰ型					
			箇所			歩A・単A
	＊＊＊　T単－ 5号　＊＊＊ 取水工Ⅱ型					
			箇所			歩A・単A

事業名	農業水路等長寿命化・防災減災事業
工事名	八重地区水路改修工事(２工区)

コード	名　称	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
	＊＊＊　Ｓ単－ 1号　＊＊＊					
	人力土工(盛土・埋戻)		m3		10.000 m3	歩Ａ 当たり算出
	人力土工(盛土・埋戻) 粘性土・礫質土,埋戻,はね付け+まき出し,振動ｺﾝﾊﾟｸﾀ(Ｉ)			冬期補正: なし 亜熱帯補正: なし	豪雪補正: １０％ 基本給時間: 8.0	
	1) 土質区分 2) 作業区分	粘性土・礫質土 埋戻		超勤時間: 0.0 公社割引補正: なし	深夜時間: 0.0 週休: 補正なし	
	3) 施工区分 4) 締固め区分	はね付け+まき出し 振動ｺﾝﾊﾟｸﾀ(Ｉ)		時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0	
	特殊作業員	0.200	人			
	普通作業員	1.330	人			
	諸雑費 10%	0.100				
	合　　計					算出数量 10.000 m3
	単　　価		m3			
	＊＊＊　Ｓ単－ 2号　＊＊＊					
	残土処分費		m3		1.000 各単位	歩Ａ 当たり算出
	残土処分費 赤松産業			冬期補正: なし 亜熱帯補正: なし	豪雪補正: １０％ 基本給時間: 8.0	
	1) 地域資材単価コード 2) 資材規格	赤松産業		超勤時間: 0.0 公社割引補正: なし	深夜時間: 0.0 週休: 補正なし	
	3) 単価の入力			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0	
	残土処分費 赤松産業	1.000	m3			
	合　　計					算出数量 1.000 各単位
	単　　価					
	＊＊＊　Ｓ単－ 3号　＊＊＊					
	鉄筋コンクリート処分費		ton		1.000 各単位	歩Ａ 当たり算出
	鉄筋コンクリート処分費 きのえ			冬期補正: なし 亜熱帯補正: なし	豪雪補正: １０％ 基本給時間: 8.0	
	1) 地域資材単価コード 2) 資材規格	きのえ		超勤時間: 0.0 公社割引補正: なし	深夜時間: 0.0 週休: 補正なし	
	3) 単価の入力			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0	
	鉄筋コンクリート処分費 きのえ	1.000	ton			
	合　　計					算出数量 1.000 各単位
	単　　価					
	＊＊＊　Ｓ単－ 4号　＊＊＊					
	アスファルト処分費		ton		1.000 各単位	歩Ａ 当たり算出
	アスファルト処分費 きのえ			冬期補正: なし 亜熱帯補正: なし	豪雪補正: １０％ 基本給時間: 8.0	
	1) 地域資材単価コード 2) 資材規格	きのえ		超勤時間: 0.0 公社割引補正: なし	深夜時間: 0.0 週休: 補正なし	
	3) 単価の入力			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0	
	アスファルト処分費 きのえ	1.000	ton			
	合　　計					算出数量 1.000 各単位
	単　　価					
	＊＊＊　Ｓ単－ 5号　＊＊＊					
	【構造物取壊し】		m3		1.000 m3	歩Ａ 当たり算出
	【構造物取壊し】 有筋,なし,機械,昼間施工,しない			冬期補正: なし 亜熱帯補正: なし	豪雪補正: １０％ 基本給時間: 8.0	
	1) 作業区分 2) 時間的制約	有筋 なし		超勤時間: 0.0 公社割引補正: なし	深夜時間: 0.0 週休: 補正なし	
	3) 施工区分Ⅰ 4) 施工区分Ⅱ	機械 昼間施工		時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0	

事業名	農業水路等長寿命化・防災減災事業
工事名	八重地区水路改修工事(２工区)

コード	名　称	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
	5) 低騒音・低振動対策	しない				
	構造物とりこわし工鉄筋構造物 制約無　機械　機労　昼間	1.000	m3			
	合　計					算出数量 1.000 m3
	単　価		m3			
	＊＊＊　Ｓ単－ 6号　＊＊＊					
	【排水構造物工】		m		1.000 [各単位]	歩Ａ 当たり算出
	【排水構造物工】 U型側溝, 昼間施工, L=2000, 1000kg/個以下, なし, -, -, 基礎砕石の施			冬期補正: なし 亜熱帯補正: なし	豪雪補正: １０％ 基本給時間: 8.0	
	工無し, 再利用撤去を行なわない			超勤時間: 0.0 公社割引補正: なし	深夜時間: 0.0 週休: 補正なし	
	1) 施工区分Ⅰ 2) 施工区分Ⅱ	U型側溝 昼間施工		時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0	
	3) 規格Ⅰ 4) 規格Ⅱ	L=2000 1000kg/個以下				
	5) 時間的制約 6) L=1000を使用	なし L=1000を使用しない				
	7) L=4000を使用 8) 法面小段面	L=4000を使用しない -				
	9) 法面縦排水 10) 再利用撤去の有無	- 再利用撤去を行なわない				
	11) 基礎砕石の施工有無	基礎砕石の施工無し				
	排水構造物工　Ｕ型側溝 時間的制約無 L=2000㎜ 1000kg/個以下 機・労 昼間単価	1.000	m			
	合　計					算出数量 1.000 [各単位]
	単　価		[各単位]			
	＊＊＊　Ｓ単－ 7号　＊＊＊					
	【排水構造物工】		枚		1.000 [各単位]	歩Ａ 当たり算出
	【排水構造物工】 蓋版, 昼間施工, ｺﾝｸﾘｰﾄ･鋼製, 40kgを超え170kg/枚以下, なし, -, -, 再			冬期補正: なし 亜熱帯補正: なし	豪雪補正: １０％ 基本給時間: 8.0	
	利用撤去を行なう			超勤時間: 0.0 公社割引補正: なし	深夜時間: 0.0 週休: 補正なし	
	1) 施工区分Ⅰ 2) 施工区分Ⅱ	蓋版 昼間施工		時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0	
	3) 規格Ⅰ 4) 規格Ⅱ	ｺﾝｸﾘｰﾄ･鋼製 40kgを超え170kg/枚以下				
	5) 時間的制約 8) 法面小段面	なし -				
	10) 再利用撤去の有無 11) 基礎砕石の施工有無	再利用撤去を行なう -				
	排水構造物工　蓋版 時間的制約無 ｺﾝｸﾘｰﾄ・鋼製40を超え170kg/枚 機・労 昼間単価	1.000	枚			
	合　計					算出数量 1.000 [各単位]
	単　価		[各単位]			
	＊＊＊　Ｓ単－ 8号　＊＊＊					
	【排水構造物工】		枚		1.000 [各単位]	歩Ａ 当たり算出
	【排水構造物工】 蓋版, 昼間施工, ｺﾝｸﾘｰﾄ･鋼製, 40kgを超え170kg/枚以下, なし, -, -, 再			冬期補正: なし 亜熱帯補正: なし	豪雪補正: １０％ 基本給時間: 8.0	
	利用撤去を行なわない			超勤時間: 0.0 公社割引補正: なし	深夜時間: 0.0 週休: 補正なし	
	1) 施工区分Ⅰ 2) 施工区分Ⅱ	蓋版 昼間施工		時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0	
	3) 規格Ⅰ 4) 規格Ⅱ	ｺﾝｸﾘｰﾄ･鋼製 40kgを超え170kg/枚以下				
	5) 時間的制約 8) 法面小段面	なし -				
	10) 再利用撤去の有無 11) 基礎砕石の施工有無	再利用撤去を行なわない -				
	排水構造物工　蓋版 時間的制約無 ｺﾝｸﾘｰﾄ・鋼製40を超え170kg/枚 機・労 昼間単価	1.000	枚			
	合　計					算出数量 1.000 [各単位]
	単　価		[各単位]			

事業名	農業水路等長寿命化・防災減災事業
工事名	八重地区水路改修工事(２工区)

コード	名　称	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
	＊＊＊　Ｓ単－ 9号　＊＊＊					
	硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管人力布設		m		10.000 m	歩Ａ 当たり算出
	硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管人力布設 VU,150mm,直管(両差し口),4.0m管,0箇所			冬期補正: なし 亜熱帯補正: なし	豪雪補正: １０％ 基本給時間: 8.0	
	1)管種区分 2)管径区分(mm)	VU 150mm		超勤時間: 0.0 公社割引補正: なし	深夜時間: 0.0 週休: 補正なし	
	3)形状区分 4)管長区分	直管(両差し口) 4.0m管		時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0	
	5)接合箇所	0箇所				
	硬質ポリ塩化ビニル管 薄肉管VU　径150　長4.0m	2.440	本			計上無し
	雑材料費	0.020				計上無し
	土木一般世話役	0.090	人			
	特殊作業員	0.130	人			
	普通作業員	0.190	人			
	合　　計					算出数量 10.000 m
	単　　価		m			
	＊＊＊　Ｓ単－ 10号　＊＊＊					
	SP 床掘り		m3		1.000 m3	歩Ａ 当たり算出
	SP 床掘り 土砂,上記以外(小規模),-,-			冬期補正: なし 亜熱帯補正: なし	豪雪補正: １０％ 基本給時間: 8.0	
				超勤時間: 0.0 公社割引補正: なし	深夜時間: 0.0 週休: 補正なし	
				時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0	
	1)土質 2)施工方法	土砂 上記以外(小規模)				
	3)土留方式の種類 4)障害の有無	- -				
	単　　価		m3			
	＊＊＊　Ｓ単－ 11号　＊＊＊					
	SP 土砂等運搬		m3		1.000 m3	歩Ａ 当たり算出
	SP 土砂等運搬 小規模,ﾊﾞｯｸﾎｳ山積0.28m3(平積0.2m3),土砂(岩塊・玉石混り土含む)			冬期補正: なし 亜熱帯補正: なし	豪雪補正: １０％ 基本給時間: 8.0	
	,無し,13.0km以下			超勤時間: 0.0 公社割引補正: なし	深夜時間: 0.0 週休: 補正なし	
				時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0	
	1)土砂等発生現場 2)積込機種・規格	小規模 ﾊﾞｯｸﾎｳ山積0.28m3(平積0.2m3)				
	3)土質 4)DID区間の有無	土砂(岩塊・玉石混り土含む) 無し				
	5)運搬距離	13.0km以下				
	単　　価		m3			
	＊＊＊　Ｓ単－ 12号　＊＊＊					
	SP 法面整形		㎡		1.000 ㎡	歩Ａ 当たり算出
	SP 法面整形 盛土部,無し,無し,ﾚｷ質土、砂及び砂質土、粘性土,あり			冬期補正: なし 亜熱帯補正: なし	豪雪補正: １０％ 基本給時間: 8.0	
				超勤時間: 0.0 公社割引補正: なし	深夜時間: 0.0 週休: 補正なし	
				時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0	
	1)整形箇所 2)法面締固めの有無	盛土部 無し				
	3)現場制約の有無 4)土質	無し ﾚｷ質土、砂及び砂質土、粘性土				
	5)長期割引単価区分					
	単　　価		㎡			

事業名	農業水路等長寿命化・防災減災事業
工事名	八重地区水路改修工事(２工区)

コード	名　称	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
	＊＊＊　Ｓ単－ 13号　＊＊＊					
	SP 殻運搬		m3		1.000 m3	歩Ａ 当たり算出
	SP 殻運搬 ｺﾝｸﾘｰﾄ(鉄筋) 構造物とりこわし, 機械積込, 無し, 5.7km以下			冬期補正: なし 亜熱帯補正: なし	豪雪補正: １０％ 基本給時間: 8.0	
				超勤時間: 0.0 公社割引補正: なし	深夜時間: 0.0 週休: 補正なし	
				時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0	
	1) 殻発生作業 2) 積込工法区分	ｺﾝｸﾘｰﾄ(鉄筋) 構造物とりこわし 機械積込				
	3) DID区間の有無 4) 運搬距離	無し 5.7km以下				
	単　　価		m3			
	＊＊＊　Ｓ単－ 14号　＊＊＊					
	SP 殻運搬		m3		1.000 m3	歩Ａ 当たり算出
	SP 殻運搬 舗装版破砕, 機械積込(舗装版厚15cm以下), 無し, 6.5km以下			冬期補正: なし 亜熱帯補正: なし	豪雪補正: １０％ 基本給時間: 8.0	
				超勤時間: 0.0 公社割引補正: なし	深夜時間: 0.0 週休: 補正なし	
				時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0	
	1) 殻発生作業 2) 積込工法区分	舗装版破砕 機械積込(舗装版厚15cm以下)				
	3) DID区間の有無 4) 運搬距離	無し 6.5km以下				
	単　　価		m3			
	＊＊＊　Ｓ単－ 15号　＊＊＊					
	SP 舗装版破砕		㎡		1.000 ㎡	歩Ａ 当たり算出
	SP 舗装版破砕 ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版, 無し, 不要, 15cm以下, -, 有り, あり			冬期補正: なし 亜熱帯補正: なし	豪雪補正: １０％ 基本給時間: 8.0	
				超勤時間: 0.0 公社割引補正: なし	深夜時間: 0.0 週休: 補正なし	
				時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0	
	1) 舗装版種別 2) 障害等の有無	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 無し				
	3) 騒音振動対策 4) 舗装版厚	不要 15cm以下				
	5) Co+As(ｶﾊﾞｰ) 舗装によるAs舗装 6) 積込作業の有無	- 有り				
	7) 長期割引単価区分					
	単　　価		㎡			
	＊＊＊　Ｓ単－ 16号　＊＊＊					
	SP 舗装版切断		m		1.000 m	歩Ａ 当たり算出
	SP 舗装版切断 ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版, 15cm以下, -, -			冬期補正: なし 亜熱帯補正: なし	豪雪補正: １０％ 基本給時間: 8.0	
				超勤時間: 0.0 公社割引補正: なし	深夜時間: 0.0 週休: 補正なし	
				時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0	
	1) 舗装版種別 2) ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版厚	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 15cm以下				
	3) ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装版厚 4) ｺﾝｸﾘｰﾄ+ｱｽﾌｧﾙﾄ(ｶﾊﾞｰ) 舗装版	- -				
	単　　価		m			
	＊＊＊　Ｓ単－ 17号　＊＊＊					
	SP 基礎砕石		㎡		1.000 ㎡	歩Ａ 当たり算出
	SP 基礎砕石 12.5cmを超え17.5cm以下, 計上する, あり, 再生クラッシャラン RC-4			冬期補正: なし 亜熱帯補正: なし	豪雪補正: １０％ 基本給時間: 8.0	
	0 40～0mm			超勤時間: 0.0 公社割引補正: なし	深夜時間: 0.0 週休: 補正なし	
				時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0	

事業名	農業水路等長寿命化・防災減災事業
工事名	八重地区水路改修工事(２工区)

コード	名　称	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
	1) 砕石の厚さ 2) 砕石の計上	12.5cmを超え17.5cm以下 計上する				
	3) 長期割引単価区分 4) 規格区分	再生クラッシャラン RC-40 40～0mm				
	単　　価		㎡			
	＊＊＊　Ｓ単－ 18号　＊＊＊					
	SP コンクリート		m3		1.000 m3	歩Ａ 当たり算出
	SP コンクリート 無筋･鉄筋構造物,人力打設,計上する,-,一般養生,-,無し,-,18-8-4			冬期補正: なし 亜熱帯補正: なし	豪雪補正: １０％ 基本給時間: 8.0	
	0(高炉B) W/C65%			超勤時間: 0.0 公社割引補正: なし	深夜時間: 0.0 週休: 補正なし	
				時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0	
	1) 構造物種別 2) 打設工法	無筋･鉄筋構造物 人力打設				
	3) ｺﾝｸﾘｰﾄの計上 4) 設計日打設量	計上する -				
	5) 養生工の種類 6) 圧送管延長距離区分	一般養生 -				
	7) 現場内小運搬の有無 8) 打設高さ､水平打設距離	無し -				
	10) 規格区分	18-8-40(高炉B) W/C65%				
	単　　価		m3			
	＊＊＊　Ｓ単－ 19号　＊＊＊					
	SP 型枠		㎡		1.000 ㎡	歩Ａ 当たり算出
	SP 型枠 一般型枠,均しｺﾝｸﾘｰﾄ			冬期補正: なし 亜熱帯補正: なし	豪雪補正: １０％ 基本給時間: 8.0	
				超勤時間: 0.0 公社割引補正: なし	深夜時間: 0.0 週休: 補正なし	
				時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0	
	1) 型枠の種類 2) 構造物の種類	一般型枠 均しｺﾝｸﾘｰﾄ				
	単　　価		㎡			
	＊＊＊　Ｓ単－ 20号　＊＊＊					
	SP ボックスカルバート機械据付		m		1.000 m	歩Ａ 当たり算出
	SP ボックスカルバート機械据付 据付,2.0m/個,0＜B≦1.25　0＜H≦1.25,無し,無し,あり			冬期補正: なし 亜熱帯補正: なし	豪雪補正: １０％ 基本給時間: 8.0	
				超勤時間: 0.0 公社割引補正: なし	深夜時間: 0.0 週休: 補正なし	
				時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0	
	1) 作業区分 2) 製品長	据付 2.0m/個				
	3) 内空幅･内空高(m) 4) 基礎材種別	0＜B≦1.25　0＜H≦1.25 無し				
	5) PC鋼材による縦締め 6) 長期割引単価区分	無し				
	単　　価		m			
	＊＊＊　Ｓ単－ 21号　＊＊＊					
	SP 上層路盤（車道・路肩部）		㎡		1.000 ㎡	歩Ａ 当たり算出
	SP 上層路盤（車道・路肩部） 路盤材,粒度調整砕石 M-30,-,-,1層施工,あり,0mm,150mm			冬期補正: なし 亜熱帯補正: なし	豪雪補正: １０％ 基本給時間: 8.0	
				超勤時間: 0.0 公社割引補正: なし	深夜時間: 0.0 週休: 補正なし	
				時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0	
	1) 材料区分Ｉ 2) 平均幅員	路盤材 -				
	3) 瀝青材の有無 4) 路盤材の有無	なし あり				
	5) 施工区分 6) 瀝青材区分Ｉ	1層施工 -				
	7) 長期割引単価区分 8) 瀝青材1層当り平均仕上り厚	0mm				

事業名	農業水路等長寿命化・防災減災事業
工事名	八重地区水路改修工事(２工区)

コード	名　称	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
	9) 路盤材全仕上り厚 11) 材料区分Ⅱ	150mm 粒度調整砕石 M-30				
	単　　価		㎡			
	＊＊＊　Ｓ単－ 22号　＊＊＊					
	SP 基層（車道・路肩部）		㎡		1.000 ㎡	歩Ａ 当たり算出
	SP 基層（車道・路肩部） 1.4m未満1層仕上厚50mm超70mm以下,40mm,各種(2.30以上2.40t/m3未満),ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ各種			冬期補正: なし 亜熱帯補正: なし	豪雪補正: １０％ 基本給時間: 8.0	
				超勤時間: 0.0 公社割引補正: なし	深夜時間: 0.0 週休: 補正なし	
				時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0	
	1) 平均幅員 2) 1層当り平均仕上り厚	1.4m未満1層仕上厚50mm超70mm以下 40mm				
	3) 材料 4) 瀝青材料種類	各種(2.30以上2.40t/m3未満) ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ各種				
	単　　価		㎡			
	＊＊＊　Ｓ単－ 23号　＊＊＊					
	モルタル現場練合わせ		m3		1.000 m3	歩Ａ 当たり算出
	モルタル現場練合わせ 洗砂(細目),1:3			冬期補正: なし 亜熱帯補正: なし	豪雪補正: １０％ 基本給時間: 8.0	
	1) 材料区分 2) 配合比区分	洗砂(細目) 1:3		超勤時間: 0.0 公社割引補正: なし	深夜時間: 0.0 週休: 補正なし	
				時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0	
	高炉セメント B種　２５ｋｇ入	0.540	ton			
	洗砂 洗砂(細目)	0.910	m3			
	混和剤 防水剤　マノール相当	0.000	kg			計上無し
	普通作業員	0.970	人			
	諸雑費 9%	0.090				
	合　　計					算出数量 1.000 m3
	単　　価		m3			
	＊＊＊　Ｓ単－ 24号　＊＊＊					
	モルタル現場練合わせ		m3		1.000 m3	歩Ａ 当たり算出
	モルタル現場練合わせ 洗砂(細目),1:2			冬期補正: なし 亜熱帯補正: なし	豪雪補正: １０％ 基本給時間: 8.0	
	1) 材料区分 2) 配合比区分	洗砂(細目) 1:2		超勤時間: 0.0 公社割引補正: なし	深夜時間: 0.0 週休: 補正なし	
				時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0	
	高炉セメント B種　２５ｋｇ入	0.580	ton			
	洗砂 洗砂(細目)	0.680	m3			
	混和剤 防水剤　マノール相当	0.000	kg			計上無し
	普通作業員	0.970	人			
	諸雑費 9%	0.090				
	合　　計					算出数量 1.000 m3
	単　　価		m3			
	＊＊＊　Ｓ単－ 25号　＊＊＊					
	人力床均し		㎡		10.000 ㎡	歩Ａ 当たり算出
	人力床均し 土砂			冬期補正: なし 亜熱帯補正: なし	豪雪補正: １０％ 基本給時間: 8.0	
	1) 土質区分	土砂		超勤時間: 0.0 公社割引補正: なし	深夜時間: 0.0 週休: 補正なし	
				時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0	

事業名	農業水路等長寿命化・防災減災事業
工事名	八重地区水路改修工事(２工区)

コード	名　称	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
	普通作業員	0.120	人			
	合　　計					算出数量 10.000 ㎡
	単　　価		㎡			

T3110109

事業名	農業水路等長寿命化・防災減災事業
工事名	八重地区水路改修工事(２工区)

コード	名　称（規　格）	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
	排水構造物工 U型側溝 時間的制約無 L=2000mm 1000kg/個以下 機・労 昼間単価		m			
	排水構造物工 蓋版 時間的制約無 ｺﾝｸﾘｰﾄ・鋼製40を超え170kg/枚 機・労 昼間単価		枚			
	構造物とりこわし工鉄筋構造物 制約無　機械　機労　昼間		m3			
【SP】	ボックスカルバート 内幅0.6m内高0.6m長2.0m T-25(RC) 土被り0.2～3.0m		個			
	残土処分費 赤松産業		m3			
	アスファルト処分費 きのえ		ton			
	鉄筋コンクリート処分費 きのえ		ton			
	角フリューム450用パッキン		個			
	重圧管 φ600		m			
	角フリューム450用分水溝 差額分		個			

事業名	農業水路等長寿命化・防災減災事業
工事名	八重地区水路改修工事(２工区)

コード	名　称（規　格）	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
	＊＊＊　Ｔ単－ 1号　＊＊＊					
	角フリューム450布設		m		10.000 m	歩Ａ 当たり算出
	【排水構造物工】 U型側溝,昼間施工,L=2000,1000kg/個以下,なし,-,-,基礎砕石の施工無し,再利	10.000	m			Ｓ単　6号
	用撤去を行なわない					
	角形フリューム 幅450㎜　深450㎜　長2.0m	5.000	個			
	角フリューム450用パッキン	5.000	個			
	合　　計					算出数量 10.000 m
	単　　価		m			
	＊＊＊　Ｔ単－ 2号　＊＊＊					
	蓋撤去・再設置		枚		1.000 枚	歩Ａ 当たり算出
	BF450用					
	【排水構造物工】 蓋版,昼間施工,ｺﾝｸﾘｰﾄ･鋼製,40kgを超え170kg/枚以下,なし,-,-,再利用撤去を	1.000	枚			Ｓ単　7号
	行なう					
	【排水構造物工】 蓋版,昼間施工,ｺﾝｸﾘｰﾄ･鋼製,40kgを超え170kg/枚以下,なし,-,-,再利用撤去を	1.000	枚			Ｓ単　8号
	行なわない					
	合　　計					算出数量 1.000 枚
	単　　価		枚			
	＊＊＊　Ｔ単－ 3号　＊＊＊					
	重圧管布設		m		10.000 m	歩Ａ 当たり算出
	φ600					
	SP ボックスカルバート機械据付 据付,2.0m/個,0＜B≦1.25　0＜H≦1.25,無し,無し,あり	10.000	m			Ｓ単　20号
	重圧管 φ600	10.000	m			
	モルタル現場練合わせ 洗砂(細目),1:3	0.100	m3			Ｓ単　23号
	SP コンクリート 無筋･鉄筋構造物,人力打設,計上する,-,一般養生,-,無し,-,18-8-40(高炉B) W	0.610	m3			Ｓ単　18号
	/C65%					
	SP 型枠 一般型枠,均しｺﾝｸﾘｰﾄ	2.000	㎡			Ｓ単　19号
	SP 基礎砕石 12.5cmを超え17.5cm以下,計上する,あり,再生クラッシャラン RC-40 40～0㎜	6.140	㎡			Ｓ単　17号
	人力床均し 土砂	6.140	㎡			Ｓ単　25号
	合　　計					算出数量 10.000 m
	単　　価		m			
	＊＊＊　Ｔ単－ 4号　＊＊＊					
	取水工Ｉ型		箇所		1.000 箇所	歩Ａ 当たり算出
	角フリューム450用分水溝 差額分	1.000	個			
	硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管人力布設 VU,150㎜,直管(両差し口),4.0m管,0箇所	1.500	m			Ｓ単　9号
	モルタル現場練合わせ 洗砂(細目),1:2	0.001	m3			Ｓ単　24号
	合　　計					算出数量 1.000 箇所
	単　　価		箇所			

事業名	農業水路等長寿命化・防災減災事業
工事名	八重地区水路改修工事(２工区)

コード	名　称（規　格）	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
	＊＊＊　Ｔ単－ 5号　＊＊＊					
	取水工Ⅱ型		箇所		1.000 箇所	歩Ａ 当たり算出
	角フリューム450用分水溝 差額分	1.000	個			
	硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管人力布設 VU,150mm,直管(両差し口),4.0m管,0箇所	0.500	m			Ｓ単　9号
	モルタル現場練合わせ 洗砂(細目),1:2	0.001	m3			Ｓ単　24号
	合　計					算出数量 1.000 箇所
	単　価		箇所			

数　量　表

水路工　　集　計　表

名　称	規　格	単位	数　量	摘　要
土工				
掘　削	機械	m^3	40.0	
埋　戻		〃	36.8	
残　土		〃	3.2	
床均し	人力	㎡	44.2	
法面整形	盛土	m	77.6	
取壊し		㎥	7.7	
コンクリート殻運搬	L=4.6km	㎥	7.7	
産業廃棄物処理	有筋	t	19.3	7.7×2.5ｔ
舗装工				
As切断	t=4cm	m	24.4	
As取壊し		㎡	13.1	
As殻運搬	L=4.6km	㎥	0.52	13.1×0.04
As殻処分		t	1.22	0.52×2.35ｔ
表層工	再生密粒アスコン t=4cm	㎡	13.1	
上層工	M-30 t=15cm	㎡	11.2	
水路工				
角フリューム	450	m	121.8	
重圧管	φ600	m	6.1	
蓋設置(進入路)	BF450用	枚	33	
取水工				
Ⅰ型取水工		箇所	4	
Ⅱ型取水工		〃	5	

工種

数 量 計 算 書

測点	測点間	掘削		埋戻し		床均し		盛土		法面整形		取壊し		摘要
番号	距離	断面	数 量	断面	数 量	断面	数 量	断面	数 量	断面	数 量	断面	数 量	
														落差工控除
No.3+28.5～No.4	20.7	0.22	4.55	0.22	4.55	0.35	7.3			0.56	11.6	0.06	1.2	落差工控除
No.4～No.5+17.5	65.1	0.28	18.23	0.25	16.28	0.35	22.8			0.72	46.9	0.06	3.9	〃
No.5+17.5～No.5+41.9	24.4	0.27	6.59	0.33	8.05	0.35	8.5			0.64	15.6	0.06	1.5	〃
No.5+41.9～No.5+48.0	6.1	1.5	9.15	1.00	6.10	0.61	3.7					0.13	0.8	〃
No.5+48.0～No.6+4.3	5.5	0.27	1.49	0.33	1.82	0.35	1.9			0.64	3.5	0.06	0.3	〃
		0.25		0.24		0.35				0.68		0.06		〃
小計	121.80		40.01		36.80		44.23				77.60		7.73	

工種

数 量 計 算 書

測点	平均	As取壊し		As切断		表層工		上層工						摘要
番号	距離	断面	数 量	断面	数 量	断面	数 量	断面	数 量	断面	数 量	断面又は長	数 量	
No.5+41.9～ No.5+48.0	6.10	2.15	13.1	4	24.4	2.15	13.1	1.83	11.16					
小計	6.10		13.12		24.40		13.12		11.16					

水路改修			延 長 算 出 書				
角フリューム450				（控除延長）			
位　置	延 長	単位	摘　要	位　置	延 長	単位	摘　要
No.3+28.5～No.6+4.3	125.80	m		No.0+30.0		m	落差工
				No.3+29.3	0.80	〃	〃
				No.4+7.4	0.80	〃	〃
				No.4+39.5	0.80	〃	〃
				No.5+17.5	0.80	〃	〃
				No.6+4.3	0.80	〃	〃
計 （A）	125.80	m		計 （B）	4.00	m	
合計 （A−B）	121.80	m					
				（控除延長）			
位　置	延 長	単位	摘　要	位　置	延 長	単位	摘　要
計 （A）				計 （B）			
合計 （A−B）							
				（控除延長）			
位　置	延 長	単位	摘　要	位　置	延 長	単位	摘　要
計 （A）				計 （B）			
合計 （A−B）							

その他附帯工　　数 量 算 出 書

重圧管					
位　置	m	摘　要	位　置	㎡	摘　要
No.5+41.9～ No.5+48.0	6.10	φ600			
計	6.10		計		

進入路（蓋撤去・再設置）					
位　置	枚数	摘　要	位　置	㎡	摘　要
No.3+48.2～ No.4+1.9	8				
No.4+28.0～ No.4+31.5	7				
No.5+7.5～ No.5+11.2	8				
No.5+36.7～ No.5+41.9	10				
計	33		計		

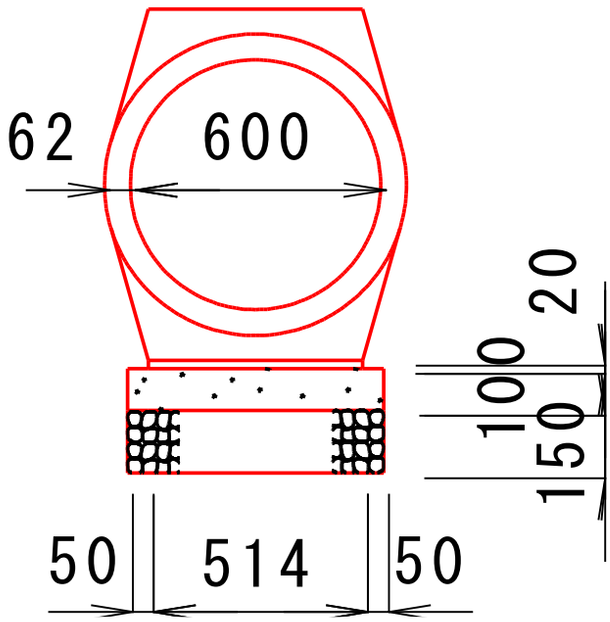
その他附帯工　　数 量 算 出 書

Ⅰ型進入路			Ⅰ型取水工		
位　置	箇所	摘　要	位　置	箇所	摘　要
No.3+48.2～ No.4+1.9	1		No.4+4.4	1	
No.4+28.0～ No.4+31.5	1		No.4+34.5	1	
No.5+7.5～ No.5+11.2	1		No.5+14.6	1	
No.5+36.7～ No.5+41.9	1		No.6+1.3	1	
計	4		計	4	

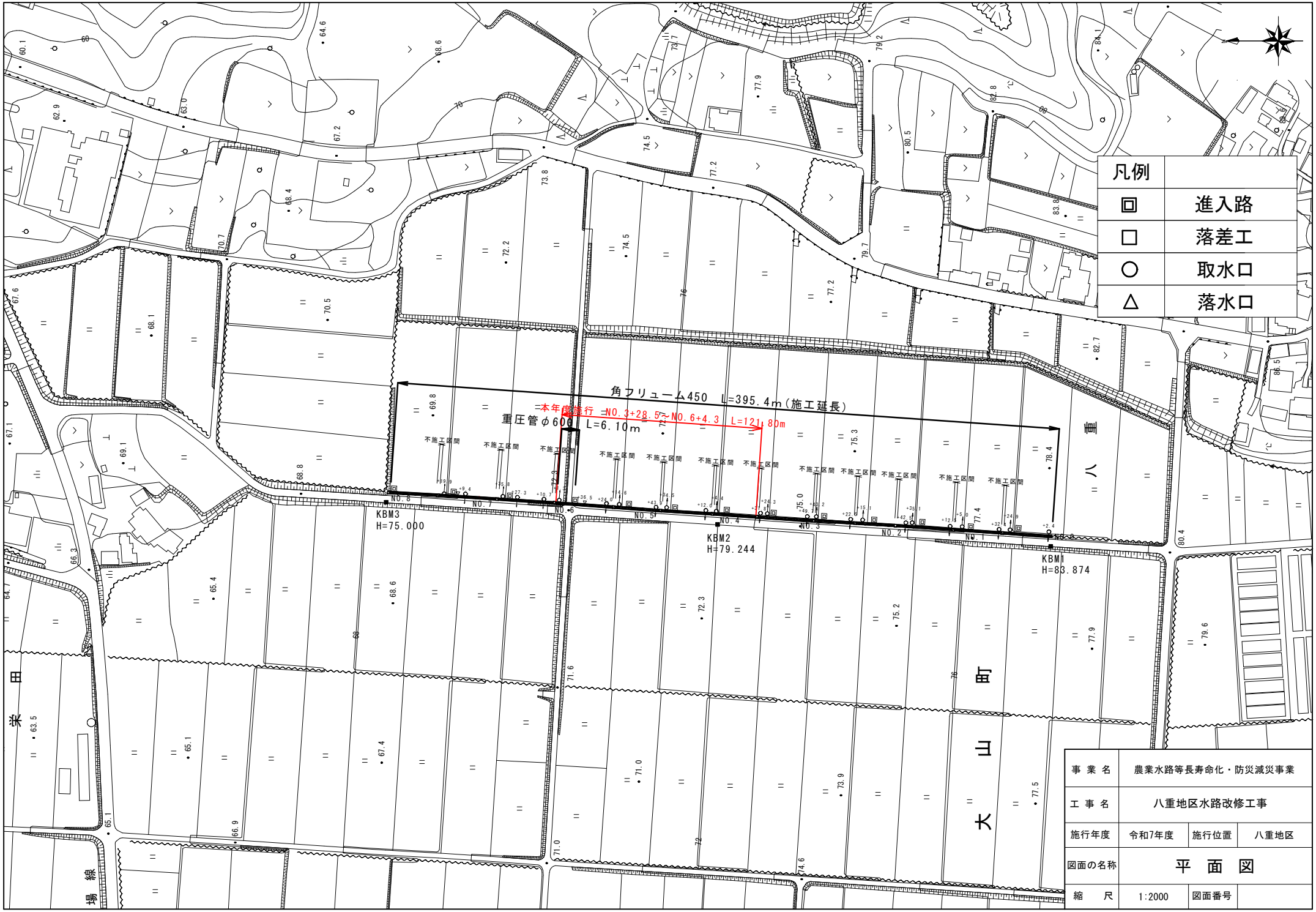
Ⅱ型進入路			Ⅱ型取水工		
位　置	箇所	摘　要	位　置	箇所	摘　要
No.6+29.0～ No.6+33.0			No.0+2.4		
No.7+14.6～ No.7+18.6			No.0+32.4		
No.8+0.8～ No.8+5.0			No.1+12.5		
			No.1+42.5		
			No.2+22.5		
			No.2+49.7	1	
			No.3+31.8	1	
			No.4+12.0	1	
			No.4+43.9	1	
			No.5+24.0	1	
計			計	5	

重圧管φ600

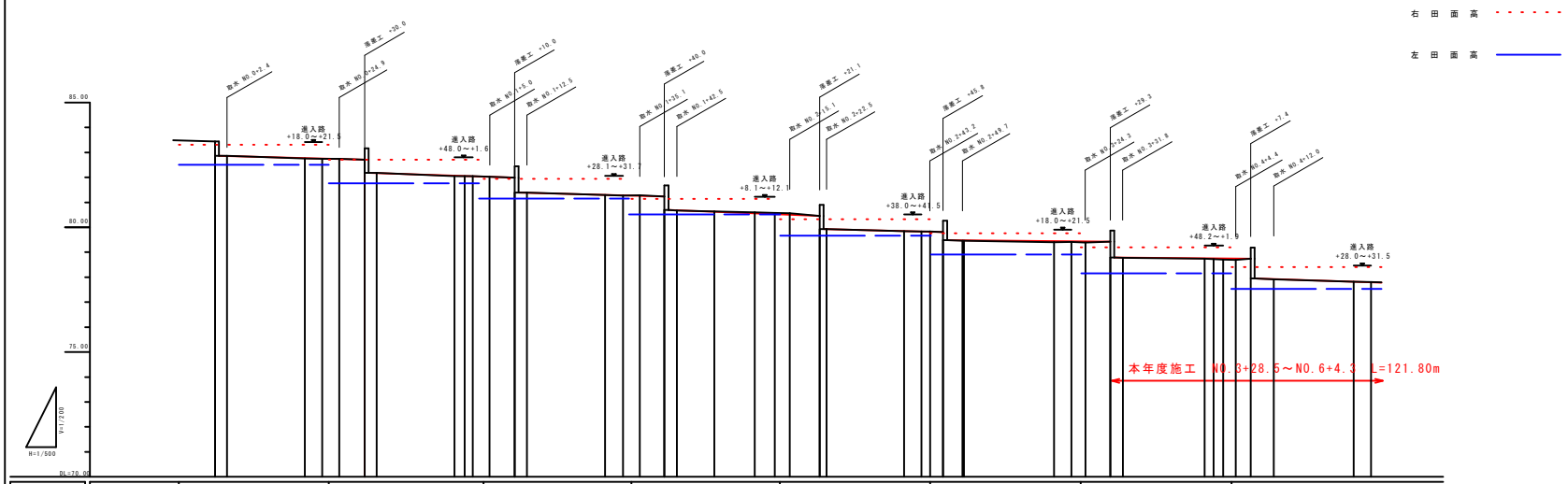
（10.0m当り）



名　称	規　格	算　　式	単位	数量
重圧管	φ600		本	5.00
コンクリート	18-40-8		m3	0.61
モルタル	1:2		m3	0.10
型枠			㎡	2.00
基礎砕石	RC-40		㎡	6.14
床均し			㎡	6.14



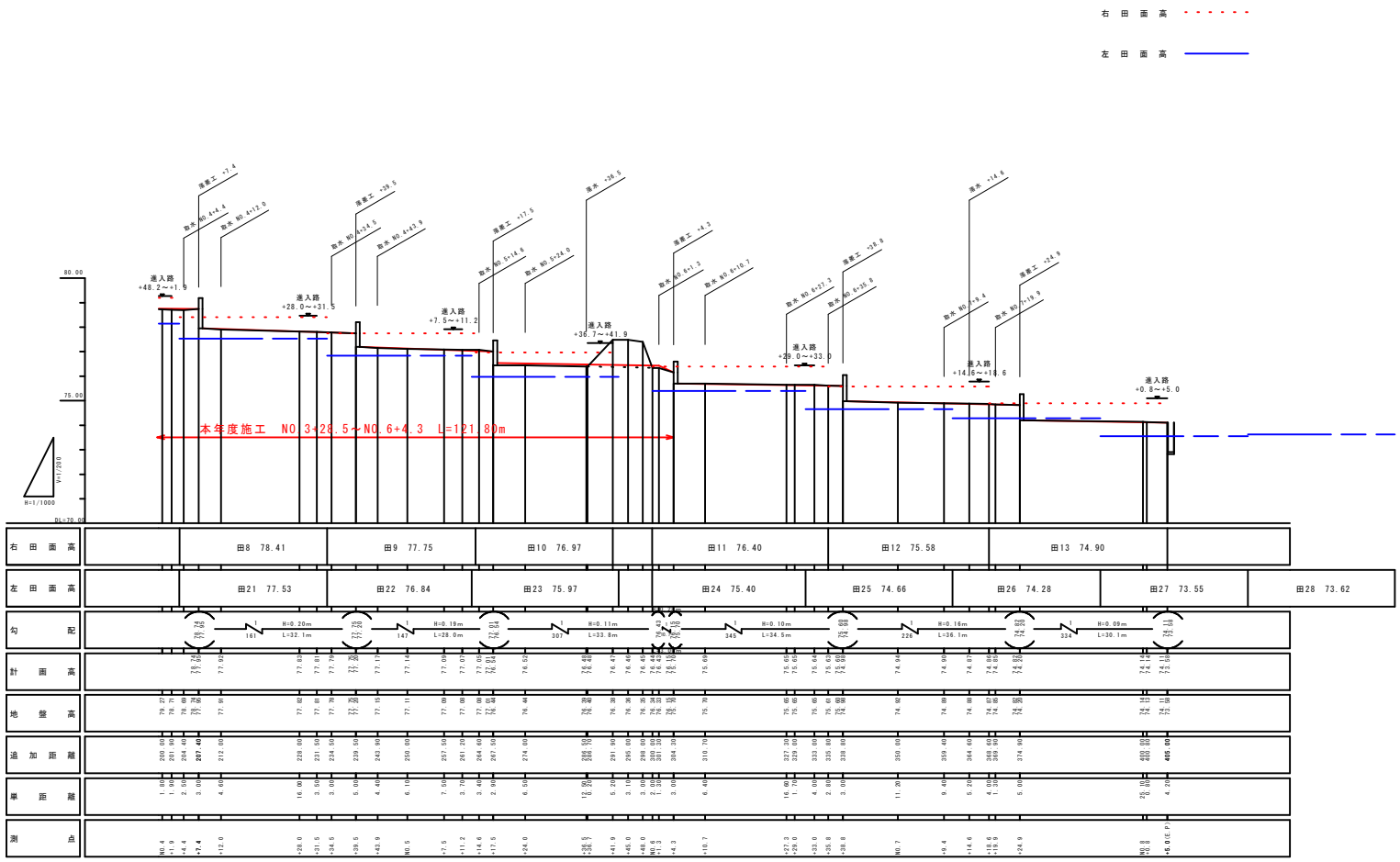
事業名	農業水路等長寿命化・防災減災事業		
工事名	八重地区水路改修工事		
施行年度	令和7年度	施行位置	八重地区
図面の名称	平面図		
縮尺	1:2000	図面番号	



右田面高	田1 83.31	田2 82.71	田3 81.94	田4 81.14	田5 80.33	田6 79.76	田7 79.20	田8 78.41
左田面高	田14 82.50	田15 81.76	田16 81.15	田17 80.52	田18 79.67	田19 78.91	田20 78.15	田21 77.53

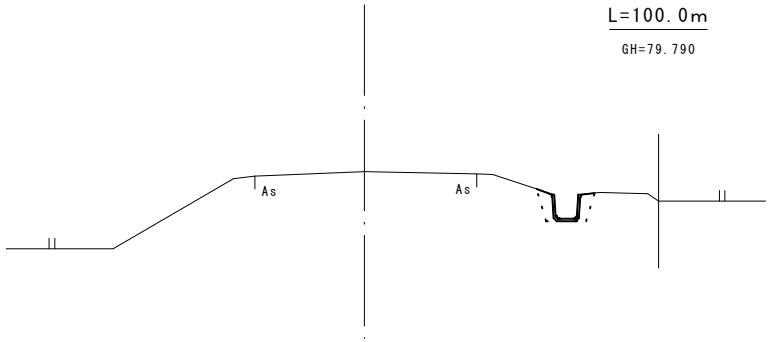
勾配							
	214 H=0.14m L=30.0m	158 H=0.19m L=30.0m	205 H=0.15m L=30.0m	124 H=0.25m L=31.1m	225 H=0.11m L=24.7m	475 H=0.07m L=33.5m	562 H=0.05m L=28.1m

| 計画高 | | | | | | |



事業名	農業水路等長寿命化・防災減災事業		
工事名	八重地区水路改修工事2工区		
施行年度	令和7年度	施行位置	八重地区
図面の名称	縦断図 ②		
縮尺	1:1000/1:200	図面番号	

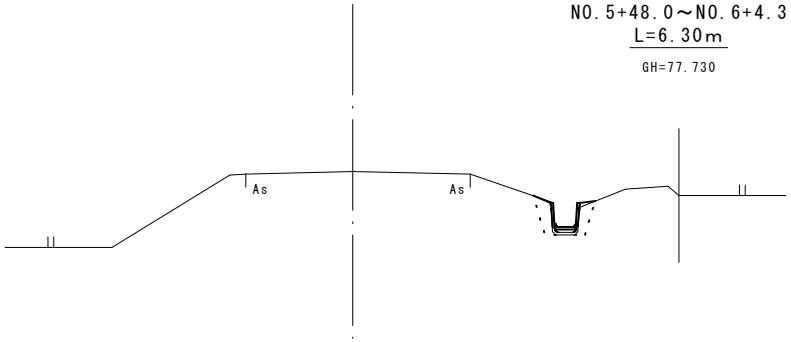
NO.2～NO.4
L=100.0m
GH=79.790



掘削：0.22㎡
埋戻：0.22㎡
床均し：0.35m
法面仕上：0.56m
取壊し：0.06㎡

DL=75.000

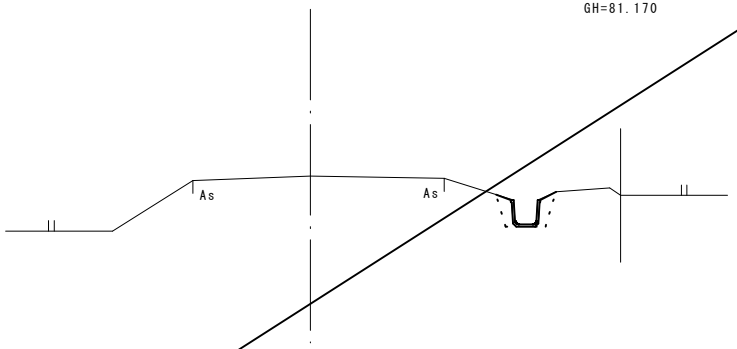
NO.5+17.5～+41.9
L=24.4m
NO.5+48.0～NO.6+4.3
L=6.30m
GH=77.730



掘削：0.27㎡
埋戻：0.33㎡
床均し：0.35m
法面仕上：0.64m
取壊し：0.06㎡

DL=72.000

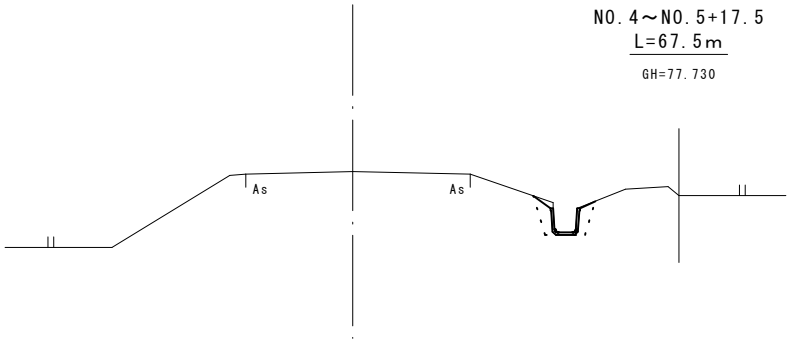
NO.0～NO.2
L=100.0m
GH=81.170



掘削：0.24㎡
埋戻：0.23㎡
床均し：0.35m
法面仕上：0.64m
取壊し：0.06㎡

DL=76.000

NO.4～NO.5+17.5
L=67.5m
GH=77.730



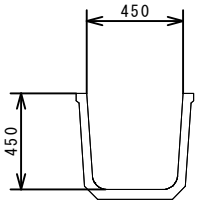
掘削：0.28㎡
埋戻：0.25㎡
床均し：0.35m
法面仕上：0.72m
取壊し：0.06㎡

DL=72.000

事業名	農業水路等長寿命化・防災減災事業		
工事名	八重地区水路改修工事2工区		
施行年度	令和7年度	施行位置	八重地区
図面の名称	横断図		
縮尺	1:100	図面番号	

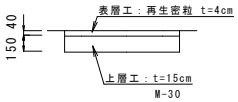
角フリューム450型

S=1：25



舗装工構成

S=1：50

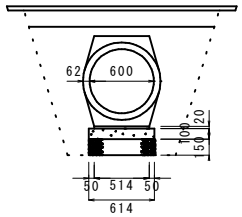


表層工：再生密粒度アスコン t=4cm

上層工：M-30 t=15cm

重圧管構造図

S=1：50

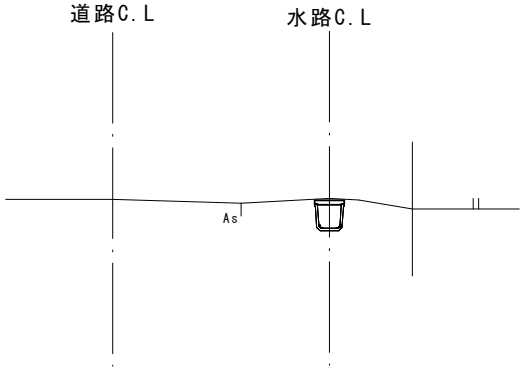


重圧管φ600

数　量　表		10.0m当り	
名　称	規　格	単 位	数 量
重 圧 管	φ600	本	5.00
コンクリート	18-40-8	m3	0.61
基礎砕石	RC-40	㎡	6.14
モルタル	1：2	m3	0.10
型　枠		㎡	2.00
床 均 し		㎡	6.14

Ⅰ型進入路　構造図

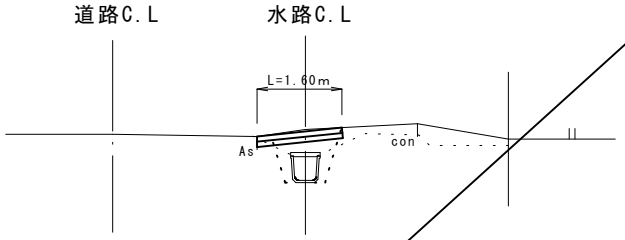
S=1：100



※各ほ場蓋かけを計上

Ⅱ型進入路　構造図

S=1：100



数　量　表		1箇所当り		
名　称	規　格	単 位	数 量	
掘　削		m3	1.40	0.34㎡×4.10m=1.39m3
埋　戻		m3	0.86	0.21㎡×4.10m=0.86m3
舗装切断		m	8.20	2×4.10m=8.20m
舗装取壊し		㎡	6.56	1.60m×4.10m=6.56㎡
舗装工	18-40-8 t=10cm	㎡	6.56	
路盤工	M-30 t=10cm	㎡	6.56	
コンクリート処分		m3	0.66	6.65㎡×0.10=0.66m3

事 業 名	農業水路等長寿命化・防災減災事業		
工 事 名	八重地区水路改修工事2工区		
施行年度	令和7年度	施行位置	八重地区
図面の名称	構　造　図		
縮　尺	図　示	図面番号	